

科目名	専門演習 I A	
担当者	畑井 清隆 / HATAI, Kiyotaka	
科目情報	法律 / 必修 / 前期 / 演習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	ゼミ参加者は、判例及び教科書等を前もって読んだうえで、参加し、授業では、報告担当者が、各自が選んだテーマについて、主要な判例の事実・判旨、学説および各自の研究について、レジュメを基に報告します。その後、そのテーマおよび報告について、全員で、質問し、議論します。
	到達目標	労働法の判例や学説を深く理解している、以前よりもより高度な論理的思考力・コミュニケーション能力を有している。
授業計画	(1) 授業の進め方 (2) 募集・採用 (3) 解雇 (4) 労働契約の終了 (5) 労働契約の期間 (6) 就業規則、労働契約の変更 (7) 平等原則 (8) 労働契約の基本原則 (9) 賃金 (10) 労働時間 (11) 休憩・休日・時間外労働 (12) 休暇・休業・退職 (13) 配転・出向・人事考課 (14) 人格と自由の侵害 (15) 企業秩序と懲戒	
自学自習	事前学習	・判例及び教科書を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・レポートを作成すること。
使用教材・参考文献	【教】中窪裕也・野田進『労働法の世界（第10版）』有斐閣 2013年 予価 3360円（税込）	
成績評価方法と基準	<基準>労働法の基本的事項を理解している場合に合格とします。 <方法>報告（20点）＋参加状況（質問・議論等）（60点）＋レポート（20点）で評価します。	
備考	「雇用法務（企業組織法務Ⅲ）」「社会法Ⅰ」「社会法Ⅱ」の未履修者は、これらの科目について履修してください。	